

KEIHA TSU

We will change before we have to.

～自ら動き、ふくいを変える～

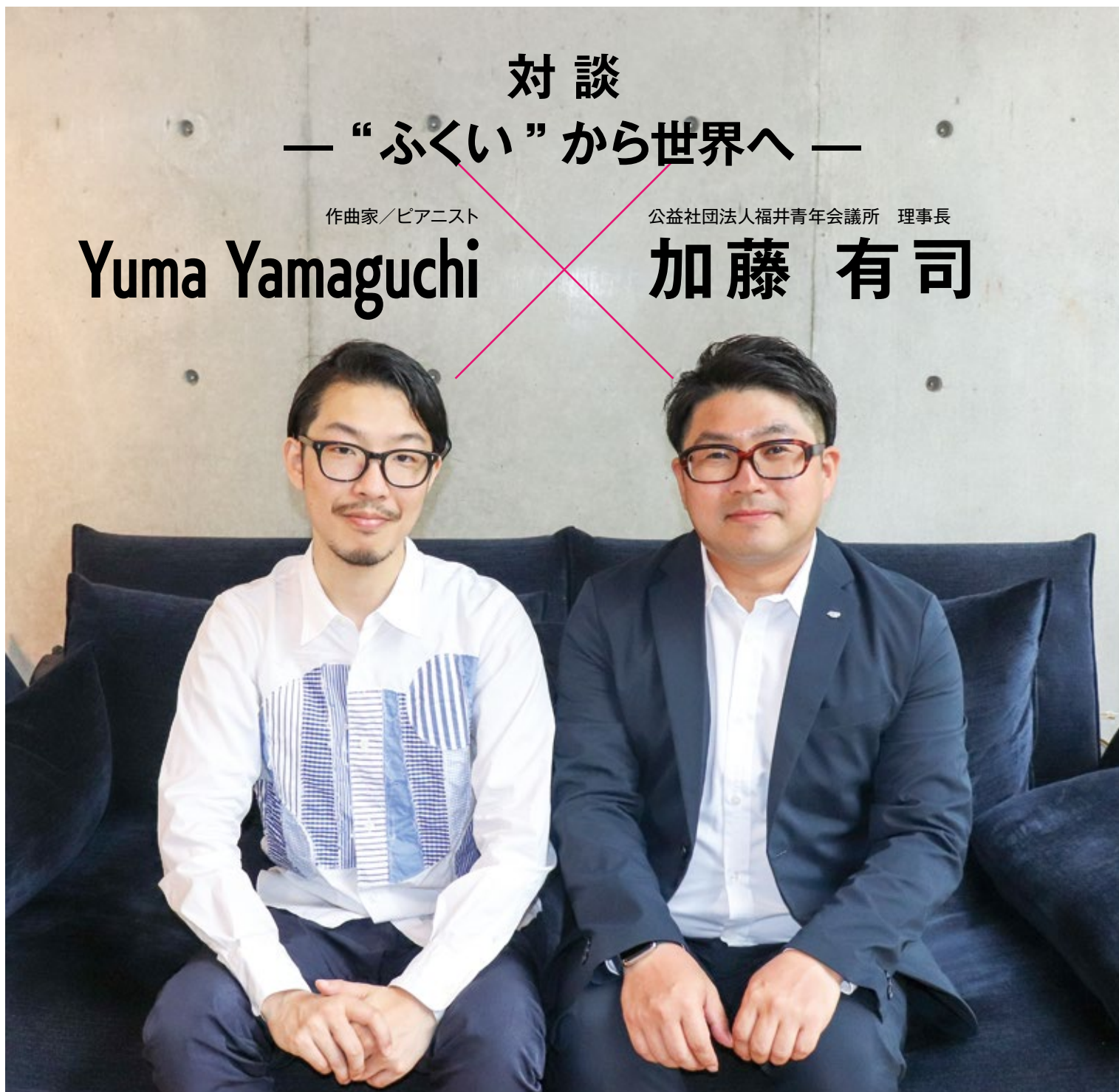
対談 — “ふくい” から世界へ —

作曲家／ピアニスト

Yuma Yamaguchi

公益社団法人福井青年会議所 理事長

加藤 有司





作曲家／ピアニスト

Yuma Yamaguchi

PROFILE

福井県坂井市生まれ。2008年にIRMA Records Japan からデビュー。2016年からYUGE inc. に専属作家として所属。ウィスコンシン大学スベリオル校作曲専攻 卒業。ユニクロやdocomo、リクルート、Microsoftをはじめとした数多くのCM音楽の作曲を手掛けているほか、映画『おじいちゃん、死んじゃったって。』（森ガキ侑大監督）、資生堂スノービューティー2016『逆さに降る雪』（柳沢翔監督・脚本）や日本テレビスペシャルドラマ『刑事バレーノ』（堤幸彦監督）などの劇伴音楽を担当。映像音楽の分野を中心に幅広く活動している。

対談 — “ふくい” から世界へ —



公益社団法人福井青年会議所
理事長

加藤 有司

PROFILE

福井県鯖江市生まれ。大日メタックス株式会社 専務取締役。パークリー大学ファッションマーケティング、マネジメント卒業。
2012年福井JC入会、2015年福井JCつながり発展特別委員会 委員長、
2013年 日本JC アジアアライアンス確立委員会、2014年 JC IAPDC 開発担当役員、
日本JC アジアアライアンス確立委員会 兼務委員、2015年 日本JC 国際会議支援委員会 委員、
2016年 福井JC副理事長、2017年 福井JC副理事長、2018年福井JC理事長に就任

～Change～

自分を変えるため新しい環境へ踏み出す

加藤有司（以下、加藤）Yuma Yamaguchiさんは福井県坂井市出身で、アメリカの大学在学中に作曲家としてデビューされ、現在は有名企業のCM音楽や映画音楽を多数手掛けておられます。Yumaさんが作曲家を目指したきっかけを教えてください。

Yuma Yamaguchi（以下、Yuma）僕が音楽を始めたきっかけは、両親ともに大の音楽好きで、4歳からピアノ教室に通ったことです。物心ついたときから音楽は常に自分と近い位置にありました。子どもの頃から遊びで曲を作ったりして、それから毎日必死で曲を書きつけて気が付いたら今という感じです。

加藤 なるほど。高校卒業後に日本ではなく、アメリカに留学されたのは何故ですか。

Yuma 将来的に作曲家として生計を立てるにはどうしたら良いか、進路選択に悩んでいました。そんなときに父親が「若いうちに感性を磨いた方がいい」と背中を押してくれて、プロの作曲家になるためには音楽以外の要素も重要だと思い、全く新しい環境に身を置いてゼロから自分の可能性を試すことにしました。

加藤 私も2002年から4年間アメリカのテネシー州の大学に留学しましたが、海外に出るのは勇気の要る決断でした。それが高校生となれば、周りの大人の理解が無いと難しいですよね。そういう意味で一番身近なお父様の後押しがあったのは心強いですね。進学先の大学はご自身で調べたのですか。

Yuma そうですね。全部自分で調べて選びました。アメリカには、音楽の単科大学ではなく、州立の総合大学で音楽学科が優秀な所が多くあります。その中で僕はウィスコンシン大学を選んだのですが、留学生に対する奨学金制度も充実しており、経済的にも大変助かりました。

加藤 実際に留学してから、自分自身の中で変化したことはありましたか。

Yuma 大人になる過程で、多様な価値観を持った人々と出会うことで、感性を養えた期間だったと思います。あの頃にアメリカへ行っていなかったら技術的な

面ではなく、感性的な面で今の音楽は作れていなかったと思います。

加藤 当時、私にとっても留学は人生最大のチャレンジでしたし不安も大きかったですが、やはり国籍や育った場所、環境が違う人が集まれば習慣も考え方も違う。そういう人々に会いつながりを作っていく中で、ものの見方も変化しましたし、そういう部分で視野は確実に広がりましたね。

プロと触れ合う重要性

加藤 大学を卒業されて日本に戻り東京を拠点に活動されていますが、福井を離れた今、改めて感じる福井の魅力はどんなところですか。

Yuma 美味しい空気と優しい人達かなと思います（笑）。ゆったりとした時間の中で、のびのびと生活出来るということは、便利な生活と同じくらい贅沢なことだと思いますね。いつ帰っても暖かく迎えてくれる福井は、僕にとっても本当に大事な場所です。いつか音楽で恩返しが出来ればいいなと思っています。

加藤 音楽で恩返しというと、例えばどんなことですか。

Yuma 僕は鳴鹿小学校出身なのですが、日本で仕事を始めてから、一度母校の授業に呼んで頂いたことがありました。その時は、子供達の手拍子を録音して、その音源を使いながら、校歌をその場でアレンジしたのですが、子供達の反応が本当に素晴らしくて、少しでも感じてくれるものがあつたのかな、と僕にとってもすごく有意義な経験でした。また、自分が中学生の時に、地元出身のピアニストが学校に来て演奏されたことがあったのですが、素晴らしい演奏に感動したことを今でも覚えています。福井の子供たちに、こういった感動や驚きを与えるお手伝いができたらと思います。子供の時に体験する、そういった一つ一つの小さな感動は記憶に残りますし、すごく意味があることですよ。

加藤 子供たちに何かを伝えることができるのは、いいことですよ。私たち福井青年会議所は青少年育成事業も行っていて、その中のひとつに、メンバーが自分の職業のことを子供たちに伝えるとい

う出張授業を行っているのですが、大人の側も学ぶことが多いです。一般の方にもゲストティーチャーとして来て頂いて、子どもたちへの伝え方や、自分の仕事について、一度立ち止まって振り返る良い機会だったと言ってもらえます。でも、ゲストティーチャーで作曲家という方はなかなかいないですね（笑）。

Yuma ぜひ呼んでください（笑）。

加藤 自分の学生時代を思い出してみても、こういう授業や活動があったらいいなということはありますか。

Yuma 東京など都会に比べると、福井はやっぱり直接触れられる情報や職業は少ないと思います。インターネットを通じて情報は集めやすくなっていますが、実際に会って話を聞くのとは全然意味が違いますよね。同じ小学校の卒業生で、現在パイロットをされている方も僕と同じ様に授業をされたと聞きました。憧れの職業だけど、なかなか福井では出会えない職業だけに、子どもたちの目の輝きはすごかったみたいです。これは何の分野についても一緒だと思います。たとえば芸術的な分野では、勝手に才能が伸びていくということはなかなかなくて、まず良いものに触れることが大事だと思います。そこはやっぱり大人が頑張って、その世界のプロフェッショナルな方と触れ合える機会を与えてあげる必要がありますよね。

夢をかなえるために必要なこと

加藤 Yumaさんの作品は、だれしも一度はテレビCMで聞いたことがあるものばかりですよ。最初はダンスミュージックでデビューされましたが、そこからCMや映画の音楽を作るようになったターニングポイントは。

Yuma もともとCMとか映画の音楽とか作りたい気持ちが大きかったのです。現在所属しているYUGE inc.はCM音楽に特化した音楽制作会社なのですが、YUGE inc.の立ち上げの際に、代表に誘って頂いたんです。代表とは前の事務所時代に何度か一緒にお仕事をする事があって、僕の仕事を覚えてくれて、声をかけてもらえたという感じです。本当にやりたい音楽をするという意味では、今



の事務所との出会いがターニングポイントですね。

加藤 私自身も色んな出会いがあって今ここに居ますが、出会いは待っていても来ないものですよ。自分から行動を起さなければ何も変わらないし、信念を持って行動しているからこそ、出会いを引き寄せてくると思います。すべては自分の努力次第ですよ。

Yuma そうだと思います。（成功の理由を）「運」と言う人もいますが、自分がやりたいことを仕事にされている方は、みんなすごく努力していると思います。本当に努力して実力をつけたら、そんなに報われない世界じゃないと思います。

加藤 今後やりたいこと、目指していることはありますか。

Yuma 大変なことももちろんありますが、自分がやりたいことを仕事としてできている今の生活が本当に楽しいです。音楽だけに集中して曲を書き続けること、自分自身が納得できる音楽を書くことが、僕にとってすごく大切なことです。

加藤 福井青年会議所では、「ひとづくり」をひとつの指針として運動を展開しています。自ら率先して行動を起こし周囲を巻き込んでいけるリーダーをこの福井から多く輩出していきたい。Yumaさんには福井のリーダーたる存在として、子ども達をどんどん導いていただきたいです。今の福井の子どもたちにエールをいただけますか。

Yuma どんな世界でも、実力があつたら周りから無視されることは無いと思います。実力をつけるためにはがむしゃらに努力するしかないし、その努力の先の道は、必ず開けると僕は思います。努力しているか、サボっているかは、自分が一番わかります。自分自身、毎日の全力疾走が少しずつ積み重なって今の自分があると実感しています。僕もまだまだ道半ばですが、福井の若い皆さんがどんどん活躍されることを応援しています。

加藤 本日はありがとうございました。

古地図で訪ねる ふくい歴史舞台



福井市立郷土歴史博物館所蔵



フェニックス通り

元々は旧国道8号線であり、福井市の中心市街地を縦貫する通りです。その頃は愛称はありませんでした。フェニックス通りと名前が付けられたのは、1985年9月です。約1600通集まった候補から、“市公認”の愛称が決まりました。フェニックス通りについては「戦災や震災を乗り越えて復興した不死鳥の町」ということで、県都の大動脈には、戦災や震災という苦難を乗り越え、復興したという福井市民の思いが込められています。

名無し道路に愛称を

この愛称が付けられたのは、全国的に道路に名前がついている都市は、文化的にも繁栄しているという調査結果をもとに、自分たちの住み暮らす街を少しでも良くしたいという福井JCの想いで、1983年10月に福井JCや別の市民団体から福井市への要望書を提出したのが始まりでした。

JC活動

福井市立郷土歴史博物館所蔵



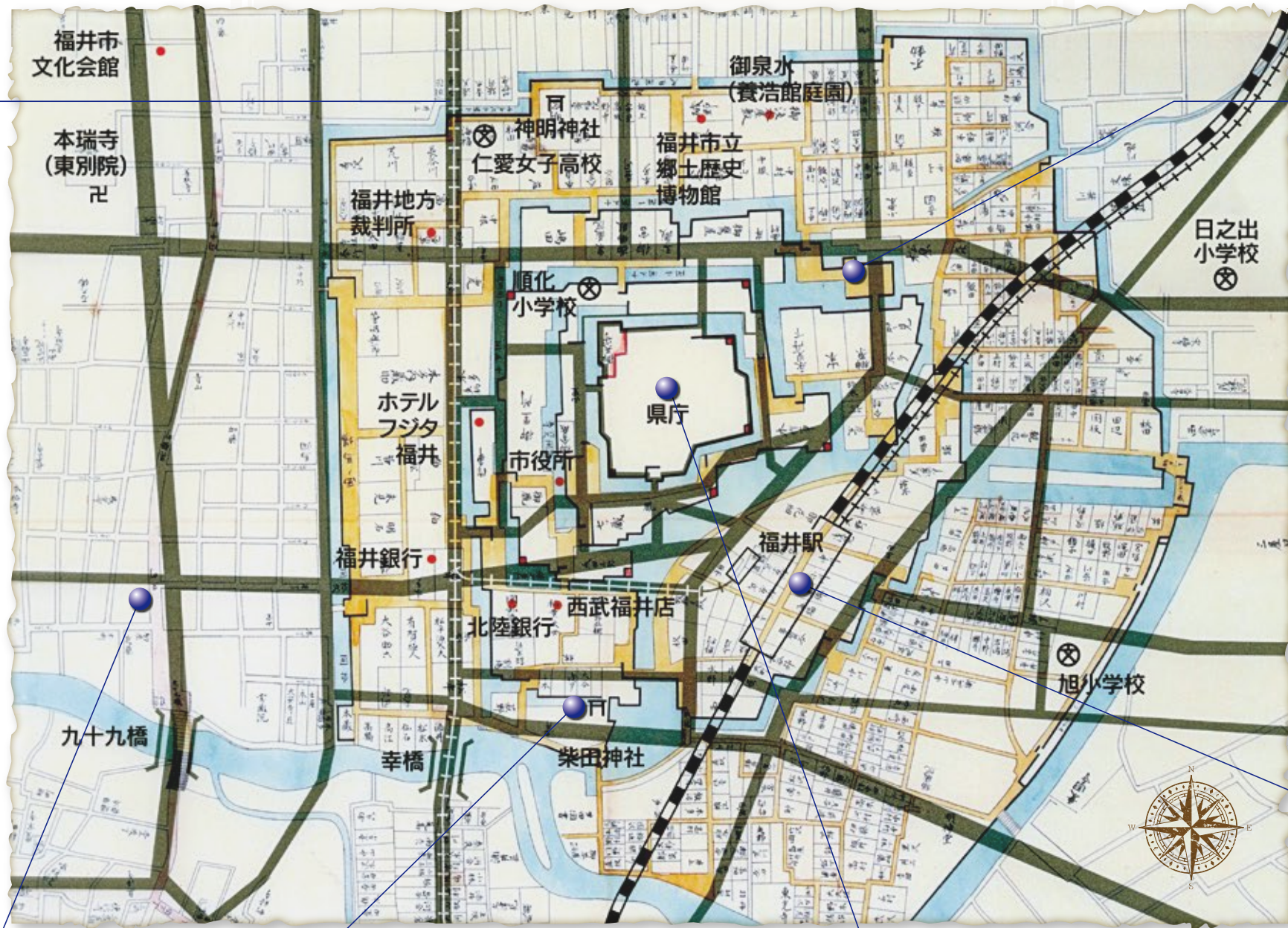
福井市グリフィス記念館

現在、福井市の姉妹都市であるアメリカ・ニューブランズウィック市に留学していた福井藩士日下部太郎との出会いがきっかけとなって、明治初期に福井藩に招かれた米国人ウィリアム・エリオット・グリフィス(1843~1928年)の邸宅だった洋館を再現した記念館です。幕末から明治初期の激動の時代を生きたグリフィスの半生や、明治維新前後にしかみられない貴重な建築様式についても学ぶことができます。

日下部・グリフィス作文コンクール

福井JCでは、2009年から毎年小学生6年生を対象に、日下部太郎とその先生であり友人でもあったウィリアム・グリフィスとの親交を描いたDVDによる作文コンクールを毎年開催しています。そして、最優秀賞の受賞者を日下部太郎が留学していたアメリカ・ニューブランズウィック市への顕彰旅行に招待しています。

JC活動



柴田神社

北ノ庄城の本丸跡地と伝えられており、戦国時代の武将・柴田勝家を主祭神とし、妻の市が配祀されています。境内には、市の3人の娘、茶々・初・江を祀る三姉妹神社があります。北ノ庄城の跡に築かれた福井城内の神祠として保護されてきました。



福井市立郷土歴史博物館所蔵

福井城址

徳川家康の二男・初代福井藩主・結城秀康が1606年に築城。約270年間17代にわたり越前松平家の繁栄の舞台となった名城。当時は雄大な天守閣と三重の堀をもっていたと言われますが、現在では石垣と堀の一部だけが残されています。1919年、福井城本丸跡地が松平家から福井県へ無償譲渡され、1923年に福井県庁が本丸跡に移転新築されました。



福井市HP写真ライブラリーより



福井市立郷土歴史博物館所蔵



明道館(福井県福井市大手2丁目15-11)

明道館は、福井藩主松平春嶽が、これからの日本を背負うリーダーを育てるため、安政2年(1855年)に設立した学問所です。橋本左内が明道館の学監同様心得に任ぜられ、西洋の優れた学問や技術の導入に尽力しました。由利公正や日下部太郎など沢山の偉人を輩出しています。

啓發

福井JCが毎年発行している「啓發」は、橋本左内の「啓發録」から命名されています。「啓發」とは、人が気づかずにいるところを教え示して、より高い認識・理解に導くことという意味です。

JC活動

福井県文書館所蔵



福井駅

1896年、北陸線の敦賀・福井間が開通し、福井停車場(現JR福井駅)が開業すると、駅前の商業地としての開発が議論されるようになりました。その後2度の大火により壊滅的な被害を受けると、福井駅前の開発がより注目されることになり、1903年には駅前の百間堀が埋め立てられ、1907年には福井停車場の拡張も行われました。そして1919年、福井城本丸跡地が松平家から福井県へ無償譲渡されることが決定し、松平武農場は細呂木村(現あわら市)へ移転、替わって福井県庁が本丸跡に移転新築され、駅前には開発可能な広大な土地が生まれ、商業地へと変貌していくことになります。

福井駅前のJC活動

2009年から福井駅周辺の中心市街地において、「ふくい秋の収穫祭」や「ふくい育都祭」を開催してきました。これらの事業は、まちが抱える様々な課題に対し、社会実験を行い、課題解決目指し実施しています。2018年の事業については、6ページをご覧ください!

JC活動

福井青年会議所の活動

1.18 (Thu.)

担当：つながり増進委員会

新年賀詞交換会



新体制初陣

今年も福井商工会議所ビル 地下コンベンションホールにて「新年賀詞交換会」を開催させていただきました。

西川知事をはじめとする多くのご来賓の皆さまにお越しいただき、盛大に開催できましたことを深く感謝申し上げます。今後5年間の中長期ビジョンや本年の活動方針、福井青年会議所の意気込みをお伝えさせていただきました。

6.23 (Sat.)

担当：リーダー育成委員会

わんぱく相撲 福井大会



6月23日(土) 福井県立武道館相撲場にて、第34回わんぱく相撲福井大会を開催いたしました。今年のテーマは「踏み出す勇気」～明日へつながる決意の1歩～。子どもたちに、勝ち負けだけでなく、相撲を通して礼節、相手を思いやる心、自分を信じる心と挑戦する勇気を育んでもらいました。福井大会終了後には、全国大会出場者を決める福井決勝大会が行われ、福井地区からは6年生代表の仲野奏人君が7月29日(日)に行われる全国大会に出場となりました。

青年経済人のための勉強会

担当：人財拡大委員会

3.29 (Thu.) 第1回「会社を変える人財の育て方」

講師：北出経営労務事務所 代表 北出 慎吾 氏

会場：コミュニティーリゾート・リライム

北出経営労務事務所の代表である北出慎吾氏をお招きし、「会社を変える人財の育て方」と題して、コンピテンシーの考え方をういた人財育成を、ワークショップも交えながら分かりやすくお話いただき、多くの方から実践していきたいとの感想もいただきました。



3.15 (Thu.)

担当：プライド確立委員会

3月公開例会

「オルコネ流 会社だいすき社員の獲得・育成方法」



オルコネ流 魅力発信戦略&社員育成術

2018年度初めての公開例会「オルコネ流 会社だいすき社員の獲得・育成方法」を、福井県国際交流会館にて開催させていただきました。

講師として、ALL CONNECT(オールコネクト) 代表取締役社長 岩井宏太氏をお招きし、どんな会社でも魅力的に発信する戦略や自社に誇りを持った社員の育成方法を、実際の取り組みを例にご講演いただきました。

ちからプログラム



4月22日(日) 到下坂小学校にて、1年生から6年生までの3クラスでちからプログラムを実施しました。今回は学校公開日ということで親子一緒にプログラムを受けていただきました。1～2年生は「伝える力」、3～6年生は「思いやる力」を実施しました。引き続き予定されているプログラムを通じて、社会に出て必要になる力や生きる力を身につけることへのきっかけとなることを期待し、創造性とリーダーシップを持ち合わせた人材を育成していきます。

7.25 (Wed.) 第2回「SNSを使った広報戦略術」

講師：有限会社 林商事 代表 林 美里 氏

会場：コミュニティーリゾート・リライム

当青年会議所メンバーであり、有限会社林商事の代表である林美里氏をお招きし、「SNSを使った広報戦略術」と題して、SNSを使用し成功している企業の実例を使って分かりやすくご説明いただきました。今日から活用できる内容も多く、参加者の皆様からも、明日から実践したいとの感想もいただきました。



2018年度 事業予定

9.2 (Sun.)

担当：プライド確立委員会

ふくいの魅力再発見 まちなかハッピーフェスタ

9月2日(日) 10時～17時(一部エリアは16時まで) 福井市にぎわい交流施設(屋根付き広場・ハピテラス)・ガレリア元町・ガレリアポケット・福井駅前電車通りにて、「ふくいの魅力再発見! まちなかハッピーフェスタ」を開催します。福井青年会議所では、毎年、まちづくり事業を展開しており、今回は福井の魅力を来場者の方に体感していただくため「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会事務局、福井市、まちづくり福井株式会社と福井青年会議所とのつながりから共に事業を開催することとなりました。

ハピテラスでは、福井で活躍している福井ミラクルエレファントをはじめとするアスリート、スポーツ団体にご協力いただき、それぞれのスポーツを活かしたこの日だけしか体験できない「体力測定」を実施します。また、リードクライミングウォール「はぴウォール」を設置します。

ハピテラス、ガレリア元町では、福井県内の企業30店舗にご協力いただき、ふくいの企業の技術や食の魅力を体感していただける「ふくいの魅力発信エリア」を実施します。小さいお子様や家族みんなで体験できるワークショップやふくいのグルメを楽しめる飲食ブースを展開し休憩スペースもご用意しております。

福井駅前電車通りでは、昨年実施して、大盛況となった「まちなか運動会」と「国体体験ブース」を実施し国体実施競技の一部を体験できるエリアもあります。

9月2日(日)は、ふくいの魅力がまちなかに大集結します!



担当：リーダー育成委員会

輝く未来を切り拓け! ～誇れるふくいのために～ 私が思う「20年後のふくい」～私ができること～

力強く夢を追った日下部太郎の軌跡から、その行動力を学ぶ機会として、福井市内の小学6年生の子供たちに、自分たちが住み暮らしたい20年後のふくいの姿を想像しそのために自分に何ができるかを考えてもらう作文コンクールを開催いたします。

ふくいの将来を担う子どもたちに夢や目標を叶えるために努力し続ける自分の行動が、他人をも動かし、世の中を変えるきっかけとなることを理解してもらい、豊かな心を持った人間へと成長し、行動力をもってたくましく生きる力を身につけてほしいと思います。

10.24 (Wed.)

担当：人財拡大委員会

青年経済人のための勉強会 「誰でもわかる事業計画書の作り方」

日時：10月24日(水) 19:00～20:45

場所：コミュニティーリゾート リライム/1Fギャラリホール

ほとんどの会社の経営者、または経営に携わる役員社員の方は、10年後5年後更には今年の事業計画書を作成することはとても重要だと考えているにも関わらず、実際に事業計画書を作成している方はとても少ないのが現状です。その背景には、「事業計画書を作成したことがない。」「事業計画書の書き方がわからない。」など、思っている方が多いのではないのでしょうか。そのように考えている方に、税理士・社労士ならではの書き方をわかりやすく説明します。

申込みフォーム：<https://goo.gl/forms/V1aGnCYZoJxMILWi2>

「誰でもわかる 事業計画書の作り方」

2018
10/24(水)
19:00～20:45
(受付18:30)

定員 70名 入場無料

会場 コミュニティーリゾートリライム
1Fギャラリホール
10月 19日(水) 18:30受付開始

TEL 0776-32-1400

講師 大澤義人氏

Profile
大澤義人税理士事務所
大澤社会保険労務士事務所代表
平成17年社会保険労務士登録平成24年税理士登録



次年度理事長決定！

2019年は、平成最後の年であり、名実ともに新しい時代を迎える年になります。福井JCにとっては、水原JCとの姉妹締結55周年を迎え、また、三県都の友情で結ばれた富山JCが全国大会を主管するという大切な一年となります。これまで以上に元気でしなやかな組織を作り上げ、ふくいのため、事業を通じた社会貢献を目指し、邁進して参りますので、お力添えの程何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年度
理事長内定者

岩本 雄太



2018年度 下期 新入会員 紹介



1990.10.1

秋田 貴洋
あきた たかひろ

ACE

JC活動で、地域貢献するとともに自己スキルアップを目指したいと思います。



1992.5.29

岩田 淳
いわた じゅん

Sunset

人間的に成長し人と人との繋がりを強く太くできる人間になるため積極的にJC活動に参加し様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。



1987.11.19

金木 隆敏
かなき たかし

南力ナキ保険

至らぬ点が多々ありますが、頑張りますのでよろしくお願い致します！



1983.10.30

小西 英嵩
こにし ひでたか

(株)ウララコミュニケーションズ

人との交流の機会を増やし、色々な方に出逢い、色々なことを学び大人の青春ができればなと思っています。これからよろしくお願い致します。



1986.7.24

廣田 和幸
ひろた かずゆき

アクアフーズ(株)

JC活動で色々なことに挑戦していき、福井の発展、自分自身の成長のために精一杯頑張ります。



1982.10.3

前田 弘樹
まえだ ひろき

ブルデンシャル生命保険 福井支社

ご縁に感謝して、仲間と共に精一杯楽しみ、精一杯活動していきます。

2018年度 会員募集

まちのため、人のため、未来のために私たちとともに活動をしませんか？

JC 4つの機会

01 個人の機会

Leadership Development

JCという団体は、満20歳から満40歳までの青年で構成されています。現在、私たち福井JCには100名を超える志の高いメンバーが所属しています。メンバーと共に色々な事業を構築・実施していく中で、個人としてのスキルアップもでき、友情を育むことができます。

02 地域の機会

Community Development

福井JCでは、まちづくりや青少年育成、人材づくりなどの分野で多くの事業を行っています。これらの事業を通して私たちは地元「ふくい」と大きな関わりを持っており、郷土の発展に貢献できるよう、活動しています。

03 国際的な機会

International Development

JCの組織は世界120ヶ国以上に広がり、多くの国際交流の場が設けられています。特に、福井JCは福井市の姉妹都市である韓国・水原やアメリカ・ニューブランズウィックとの交流の礎を築いており、現在でも定期的に交流しています。

04 ビジネスの機会

Business Development

JCのメンバーは、一歩JCを離れると様々な業界で活躍している青年経済人ばかりです。また、500名を超える卒業生(OB)は、今もふくいの経済界で活躍されています。JCでの出会いを通して、新しいビジネスがいくつも生まれています。

誠心誠意
ご説明させて
いただきます！

新入会員 入会基準

◎原則として、福井市内及びその近郊に居住または就業している男女。 ◎満20歳以上で満40歳未満の情熱のある男女。

◎正会員2名以上の推薦を受け、年2回(5月、11月)の入会審議において承認された男女。



名村 修一

人財拡大委員会
委員長

福井青年会議所の活動を詳しく公開中！



公式ホームページでは、福井青年会議所で取り組んでいる活動の様子や事業予定などを随時掲載しております。ぜひ一度、ご覧ください。また、フェイスブック・インスタグラムではリアルタイムで情報発信を行っています。フェイスブック・インスタグラムをお使いの方は、ぜひとも「いいね！」をよろしくお願いいたします。

HPは

福井青年会議所



Find us on
Facebook

福井JC Facebook



Instagram

fukuijc2018



JCI Junior Chamber International **Fukui**
公益社団法人 福井青年会議所

〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階

TEL.0776-33-1750 FAX.0776-33-1752

●URL <http://www.fukuijc.or.jp> ●E-mail admin@fukuijc.or.jp

●公式フェイスブック <https://www.facebook.com/fukuijc>

●公式インスタグラム <https://www.instagram.com/fukuijc2018>